



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

京都部



京都部 部報

2012-13年度 BULLETIN 第1号 2012.7発行

京都部部長主題 『出あい』『ふれあい』『磨きあい』

西日本区理事方針主	先頭に立ってワイズの光を輝かそうークラブで、地域で、国際社会で
国際会長主題	“Let Y's men Light Shine before Others – In the club, in the community, in the world”
アジア地域会長主題	“Be the light of the world” “世を照らす光となろう” “Years bring wisdom” “歳月はY'sをワイズ(賢者)にする”



『出あい』『ふれあい』『磨きあい』

京都部部長 船木 順司

6月24日リトセンワーク、京都部第一回評議会と共にスタート致しました京都部17期、次期部長として京都部役員に就任し、キャビネットの皆様と部の運営に付いてしっかりと話し合いを行い、各事業主査の皆様とはそれぞれの事業に主査としての拘りを持っていただき、万全の態勢で今期がスタート致しました。学び多き一年間、ここで蓄積したエネルギーを今期は大いに放出して行きたいと思ひます。

さて、今期私が掲げた主題『出あい』『ふれあい』『磨きあい』はワイズライフにおいて毎年メンバーとしての役割が変わり、立ち位置が違います。その違いや変化と共に、出あい方、ふれあい方、磨きあい方がまた新たに形を変え訪れます。大いに皆様と出あい、ふれあい、磨きあいを行なえる事を願った主題です。この一年間にどれだけの力を出し尽くせるかは解りませんが、一年間だから力を出し尽くせる事を信念に、私の人生観でも有るバランスを大切に、京都部18クラブの皆様と議論をつくり、クラブの発展に少しでも寄与できるようにエネルギーの放出を行いたいと思ひます。

今期、Yサ・ユース事業では、ユース支援(GCS・YC・STEP・Y3等)に付いて大いに議論し、YMCAと共に震災支援の継続を考えて行きたい。地域奉仕環境事業では国際統一事業(UGP)ロールバックマラリアへの支援やHIVエイズフォーラムの継続支援、EMC事業では、7月1日時点半年報での京都部メンバー数が494名と500名をやや下回りました。一日も早く500名に復帰し安定を図りたい。同時に各クラブのMCを共有出来ればと思ひます。ファンド事業では、BF・EF・JWFの意義を、クラブ内ファンドにおいては各クラブとのコラボ等。交流事業では、ユース支援に繋がるSTEP・YEPP参加への積極アピール、合同例会の推奨等。広報事業では、本年より発足した、PR委員会に於いて幅広い広報活動の模索。メネット事業では、メネットの皆様同士の懇親により、また違った視点でのワイズに対するご意見を頂く事や、昨年同様震災復興支援の継続を考えております。

上記京都部事業を皆様と考え、新たな出あい、ふれあい、磨きあいを満喫し、京都部繁栄の一助を担える事を喜びとし、有意義なワイズライフを過ごしたいと思ひます。皆様一年間宜しくお願い致します。

京都部 2012-2013年度 役員・会長 抱負



次期京都部部长
桂 厚子
(京都ウエストワイズメンズクラブ)

西日本区の中でも、常に注目され誇りに思ってきた京都部。今まで強いリーダーシップを発揮されてきた先輩部長。その部長職をこの私が引き受けした事を、今更ながら正直、恐れおののいております。しかしながらこの1年を船木部長や前前部長にご指導頂ける事や、幸いすばらしいワイズ仲間恵まれ、私の未熟さを補ってくださいます。今までの京都部のあり方を無駄にすることなく、今を、この場所で、全身でぶつかって行く決意です。YMCAと手を携え、思いやりと労わりのある日常を、活動を通して実現すること。そして、素晴らしいワイズ仲間を増やし、もっともこの活動を知ってもらおう努力をしていきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひ致します。



京都部統括連絡主事
加藤 俊明
(京都YMCA)

京都部の統括連絡主事として2012年～2013年の船木部長の下で京都部に関われることを楽しみにしています。京都YMCAは、公益法人化に伴い会員制度を大きく変更しました。新しい会員制度では、京都YMCAの事業や活動を担いまた支える人を会員と定義しています。その意味でも維持会員としてYMCAの運営を支えYMCAサービスを行う京都部のワイズメンの皆さんは、改めて述べるまでもなく京都YMCAの会員であり京都YMCAを担い、支える役割を実践していただひいます。各クラブの拡大はYMCA運動の広がりでもあります。今期も船木部長のもと京都部と京都YMCAがともに地域に発展していけるよう働ければと思ひます。



直前京都部部长
前 登
(京都みやびワイズメンズクラブ)

この1年、京都部の役員および会長と全ワイズメンバーのご協力により無事に部長職を終了することができました。

皆様にあらためて感謝申し上げます。今期は船木部長のもと、部役員の一員として微力ながら協力させていただきたいと思ひます。ワイズの事業は、スタートダッシュが大変です。どうか皆様のご協力を得て、あまり無理をしないように体に配慮しましょう。短いようで1年間は長丁場です。準備期間も半年は過ぎていると思ひますが、いよいよこれからが実践となります。私の経験からもあまり思い込まないように、まずリラックスしてから望みましょう。

これからの1年が役員の皆様のワイズ冥利につきる年であることを願っております。



京都部書記
河原 正浩
(京都トップスワイズメンズクラブ)

今期京都部の書記を担当させていただきます京都トップスクラブの河原正浩です。主な役割としては役員会、評議会での議事進行や資料作成、各事業主査との連携、懇談会等においても参加協力し側面より支えてまいります。この一年だけではなく、次期へと良いものを伝えられるように努め各クラブの皆様と良い関係で京都部とのパイプ役ができればと思ひます。一年間宜しくお願ひ致します。



京都部書記
新山 兼市
(京都トップスワイズメンズクラブ)

今期京都部書記をさせて頂く京都トップスワイズメンズクラブの新山(ニイヤマ)です。船木部長の熱いアツイ想ひ下、各事業主査のアツイ想ひと部長標語に基づき活動方針をキャビネットみなが一枚岩で共有し、京都部の役割・意義・今後は再確認しながら1年間の短期間ですが楽しく遂行していきたいと思ひます。

今期書記は2名体制で業務を遂行し、事務局長・キャビネット全体で協働し、京都部役員の皆様や各クラブの会長の皆様とのパイプ役として一年間スムーズで円滑な伝達ができるように努めてまいりたいと思ひます。

せっかくいただいたご縁ですから、新たな出会い・経験をパワーに楽しく充実した1年にしたいと思ひます。

短い期間ではございますが、微力ながら京都部発展のために精一杯頑張る所存ですのでご理解ご協力の程 宜しくお願ひ致します。



京都部監事
阪田 民明
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

『出あい』『ふれあい』『磨きあい』

今期17期船木順司部長標語を掲げての出発です。私たちはワイズに出会い、多くの仲間や奉仕事業にふれあい、自己研鑽をしながら、心と体を磨いてきました。

この主題のもとに、京都部メンバー全員が行動、そして参画する事が理想のワイズメンだと思います。私も部役員に関わって4年目、この監事職が最後の役員となりました。監事に求められている役職を理解し、厳しい目と思ひやりの心をもつて最後の役職を全うしたいと思ひます。部役員が一致協力し、共に相手を理解し、意思を通じ合い、楽しい一年にしたいものです。色々な問題もたくさんありますが、メンバー皆様の御協力をお願いし、夢のある京都部を求めていきたいと思ひます。前期はメンバー数も500名を超え、今期は600名の目標の声も上がっています。

今年一年、京都部メンバー全員が満足感と笑顔で終えられる事を期待し、微力ながら頑張りたいと思ひます。



京都部会計
河原 祥博
(京都トップスワイズメンズクラブ)

今期京都部会計をさせて頂く京都トップスワイズメンズクラブの河原祥博と申します。まだ若輩者の私がこの大役のお話を頂いた時は正直「なぜ私が・・・」と思いました。しかし船木京都部部長より入会して日の浅いメンバーが京都部の役員として経験し、また他クラブの皆様とふれあいそして自己研鑽してほしい、そして自クラブにその経験した物を持って帰ってくれたら良いんだよと言って頂き、私自身にとっても良い経験になるだろうし京都部18クラブのために何かお役に立てるのならとお受けさせて頂きました。今思えばこれが船木京都部部長主題の「出会い」「ふれあい」「磨きあい」のことなのかと思います。準備期間を重ねるに従い本当に大切な役割をお受けしたというプレッシャーをひしひしと感じておりますが皆様の大切なお金を預かるという大切な仕事に誇りを持ち船木京都部部長を影で支えて(支えられるかもしれませんが)この一年精進し邁進していく所存で有ります。本当に皆様にお世話になると思いますが叱咤激励頂けると幸いですので宜しくお願い申し上げます。



京都部事務局長
加藤 信一
(京都トップスワイズメンズクラブ)

今期、京都部の事務局長を務めさせていただきます京都トップスワイズメンズクラブの加藤信一と申します。

船木京都部部長の下で、諸先輩方が築かれた京都部の素晴らしい歴史の一端を担えることに喜びと緊張を感じております。部長の想い、各事業主査の想いを部長標語に基づき活動方針を部長と共に共有し、キャビネとの一員としてこの一年間、微力ながら精一杯頑張る所存です。

事務局長の業務としましては、書記と協働し、京都部役員の皆様や各クラブの会長の皆様とのパイプ役として一年間スムーズで円滑に伝達できるように努めてまいりたいと思っております。

京都部各クラブ会長の皆様には何かとお願いする事も多いかと思っておりますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。



京都部YMCAサービス
ユース事業主査
山田 英樹
(京都キャピタルワイズメンズクラブ)

今期YMCAサービスユース主査を拝命いたしました京都キャピタルクラブの山田英樹です。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

今期を迎えるにあたり『若者へワイズダムの継承』という少し大仰な主題を掲げさせて頂きました。実はその原点は昨年の東日本大震災に際して京都YMCAから被災地に派遣した多くのボランティアの皆さんの献身的な姿にあります。

西日本区の中でも最も多くのワイズメンが在籍する京都部なのですが他のサービスクラブの例にもれず高齢化はどんどん進んでいます。若い世代の力を数多く受け入れ、常に新陳代謝をはからねば近い将来大きな壁に突き当たるのは想像に難くありません。

オピニオンリーダーである京都部だからこそできるユースへの取組、今期は一年間を費やし京都部のすべてのクラブの皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

京都YMCAに集う素晴らしいリーダーの皆さん、頼もしいそのOBの方々、ワイズメンの活躍を常に身近で見ている子弟の皆さん。そして、昨年の大震災に際して、仕事や学校の休みを利用して復興ボランティアバスに乗込んでくれた多くの若者たち。私達ワイズメンがメンターと成り共に働くことのできる人々はたくさん存在します。

そしてその人々がやがてワイズメンとして活躍してくれたら、こんなに頼もしい事はありません。そのためには京都部のすべてのクラブが一致団結しユース支援の取組を強化する。それが何より重要であると考えています。

今期一年間、様々な機会をとらえて皆様とご相談させて頂きたいと思っております。

忌憚のない意見をお聞かせ願えれば幸いです。どうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。



京都部地域奉仕・環境事業主査
坂下 昌史
(京都めいぷるワイズメンズクラブ)

今期、京都部船木部長の下、役員を務めさせていただきます京都めいぷるクラブの坂下昌史です。

地域奉仕の事業は大変忙しい事業でもあり、これも各クラブ様の御協力がある事業です。

また今期地域奉仕活動の事業であるロールバックマナリアの2年目の年でもあります。今期は西日本区地域奉仕・環境主任として、京都トップスクラブの笠井主任が輩出されておられますので、同じ京都部として一層の協力をして行きたいと思っております。これまでの歴代地域奉仕・環境主査様の活動されてきましたことを無駄にせず、京都部の各クラブ様と多くのワイズメンと共に頑張りたいと思っております。また各クラブ様で、支援先の施設やまた地域の奉仕活動をされておられますので、できる限りの事ではありますが、私も協力させて頂きたいと思っております。またグローバルな地域に対しても奉仕活動を行きたいと思っております。その中でも、今、世界中でも問題になっております環境問題への取組にも、各クラブ様より沢山のご指導とご協力を頂き、積極的に環境問題への取組みもして参りたいと思っております。そして、ワイズメンズクラブの存在を、地域にアピールして行きたいと思っております。まだまだ至らない部分が沢山あると思っておりますが1年間頑張りたいと思っておりますので、どうぞ皆様よりしくお願いいたします。



京都部EMC事業主査
為國 光俊
(京都パレスワイズメンズクラブ)

EMC事業主査を務めさせていただきます京都パレスクラブの為國光俊です。「ビジョンを持つ。楽しいクラブに人は集まる！」(京都部600名達成に向けて)を主題として、一年間、皆様と共に活動してまいりたいと思います。京都部は、メンバー数常時500名体制の状態に手の届くところになりつつあります。楽しいクラブに人は集まります。EMCのM(親睦・交流)とC(クラブの健全な維持・存続)がクラブ運営のベースではないでしょうか。温かみがあって規律ある例会。そこでメンバー間の親睦や交流が深まると大きな絆が生まれます。その絆がエネルギーとなって新たなメンバーを勧誘する力になるのだと思います。会員増強はメンバー一人ひとりの活動に頼るところが大いなのですが、視点を変えて入会候補者の立場からすると、クラブの運営がしっかりしていると安心して入会しようと思えるものです。年代や職業分類の構成、男女比率などを検討し、将来を見据えて新しい風を取り入れるクラブ作りを目指されることを願います。そのためにEMC懇談会やシンポジウムでは、うまく活性化を図っておられる他クラブの事例紹介をさせて頂いてEMC活動のヒントとしていただければと計画しています。

ワイズの輪が拡がり、京都部が常時500名体制を維持し、さらに600名を目指していけるように、各クラブの会長、EMC委員長の皆様の協力のもとこの1年間活動いたします。



京都部交流事業主査
高田 敏尚
(京都ワイズメンズクラブ)

このごろ街なかでよく鏡を目にします。街なかといっても、正確には公共施設の階段などです。通勤の地下鉄でも階段に鏡があり、朝「元氣かな」と自分の顔をみてニコッとします。ハートビル法とよばれる法律がありました。いまは、道路の段差など交通面と合わせてバリアフリー新法という法律があります。公共施設でも衝突回避のためや、さまざまなハンディをもった人々への配慮がみられるのですね。

私たちは自分の顔を気かけると同時に、喜びや怒り、寂しさや悲しみなどをみせる他者の「顔」にも気遣います。社会のなかで私が私であるのは、他者がいるからこそなのです。だからこそ、他者に無関心であることができず、他者に共感し、また他者からのよびかけに責任を負っているといえるでしょう。他者が存在してこそ私自身が何者であるか、よりははっきりしてきます。

ところで、みなさんのクラブのクラブらしさって何なのでしょう。ワイズの醍醐味はなんといっても交流です。自クラブ内の交流も大切ですが、他クラブにも目をむけましょう。他クラブを知ることから自クラブをより深く知ることができます。DBCそしてIBCによって京都部、西日本区、そして海外とワイズのつながりは広がります。ぜひ、自クラブを高めるためにも他クラブの良さを知りましょう。お互いが響きあっていい交流ができるはずです。今期も京都部のみなさんに、ぜひ多くのクラブを、そして顔と名前が一致する京都部、西日本区の、さらに国際のメンバーを増やしてほしく思います。



京都部ファンド事業主査
白濱 廣史
(京都エイブルワイズメンズクラブ)

いよいよキックオフです、数回の準備役員化を経て先日本役員会が開催され、いよいよ始まる実感は幸いです、私のような者が主査を務められるのか、未だに不安でいっぱいですが、前だけ見て進んで行きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

ファンド事業と言えば、BF、EF、JWFと言うように、基金集めと言う事に成りますが、その基金の中身が私達ワイズメンがもっと分かりやすく成れば基金ももっと集めやすく成ると思っておりますので、基金の収支等が透明に成るように努力したいと思います。

もう一つ欠かせないのが、クラブの中で行われますファンドですが、ワイズポテに始まり、クラブ内ではそれぞれのクラブの個性を生かしたファンドが行われていると思います、ワイズポテに関しましてわクラブ間で協力して遣られているクラブも有ると思っております、仕入れが高すぎるなどの悩みが有るクラブが有りましたら、ご相談下さい、又、ポテ以外のファンドにつきましては各クラブで得意なファンドが有ると思っておりますので、そろファンドの情報が京都部18クラブが共有出来るようなシステムを作れないかと考えております、最後に成りましたが、BF基金を補助するための使用済み切手の現金化を京都部が纏めて換金をして現金に変えたいと思っております、一年間頑張っておりますので、宜しくお願いします。



京都部広報事業主査
三科 仁昭
(京都東稜ワイズメンズクラブ)

今期広報主査を務めさせていただきます、京都東稜クラブの三科です。今期の大きなテーマは、ワイズメンズクラブをより多くの方への周知化です。昨年度各クラブ様におきましては、クラブ案内など作成されたり、フェースブックなどネット配信を強化されたクラブ様も多いと聞きます。奉仕クラブもたくさんあり、ワイズの活動をより多くの方に知ってもらうためには、身近な活動として、クラブ案内の手渡し、フェースブックの活用、例会への招待などが必要となります。どれも欠かせないものではありますが、特に今期はフェースブックの有効活用で、より多くのお知り合いの方に、ワイズの活動ならびにYMCAの活動をたくさんの方に知っていただくことに重点化してまいります。そのためには、各クラブ様の重点行事や、各主査様の活動を連携をとりながら対外的なアピールをしてまいります。

特に今期の重点行事といたしまして、ワイズデーをネット配信、ワークショップ、イベントの開催などを、皆様のご協力のもとワイズ広報の絶好のチャンスと考えて、提案をさせていただきます。また、今期は、京都部におきましては、船木部長の発案でワイズ広報を組織的な活動として進めるため、「PR委員会」が発足され、HPの変更を最初の実施項目として、7月1日より立ちあげます。そこでは多くのワイズメンが立ち寄れる場所にして、情報発信の基地としてゆきましますので、京都部のHPもどうぞご覧ください。1年間の終われば短い期間ではありますが、ワイズ広報のために、皆様のお知恵をいただき、主査として1年間させて頂きさせていただきますので、ご協力の程お願いいたします。



京都部メネット事業主査

渡部 美代子

(京都トップスワイズメンズクラブ)

いよいよ主査としてのお役が始まります。

自然体で肩を張らず西日本区 京都部の事業方針に沿って協力して行きます、言う間でもなくワイズメンの妻はメネット、子供はコメットと呼ばれ家族そろって参加できるクラブです、YMCA ワイズ活動を通して人との出会いがあり触れ合う中で、特にさまざまな障害を持つ人々との出会いは自分を見つめなおす機会を与えられ、健常者であることの喜び、本当の幸せとは何か学習の場でもありました。

クラブの事情によりメネット会を持たないクラブもあります、又メネットさんの中にも「仕事を持っている」「子育て真っ只中」「介護を要する家族がいる」などなどメネットが参加協力することは難しい問題をでもあります、出来ないからしないのでは無く 出来るとき、出来ることをしようと思う努力が大事ではないでしょうか、その為にもメンはメネットの良き理解者であり、メネットはメンの良きパートナーとして共に心を広げ小さな一歩踏み出しませんか、メネットの小さな一歩の積み重ねがワイズの大きな輪になることと信じます。

今期 区 部のメッセージを伝えるパイプ役として務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

京都ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

「不易流行」



杉本 仁郎

会長主題の不易流行とは、不易 → 時が経過しても変わらない事。
流行 → その時々で変わる事。の2つの意味です。

65年のクラブ歴史のなかで変わらないもの(変えないもの)の中で、時の移り変わりの中で少しだけでも進化出来ればと思っています。

現在クラブの最重要課題はメンバー増強です、新メンバーを増やす事・退会者を無くす事をメンバー全員で共有しています。その為、全事業委員会がメンバー増強を念頭に置いて活動する事になりました。又クラブの面白さを知る為、(再確認する為)事業委員会を活性化させる事。具体的には事業委員長・担当役員と一部の委員だけが出席する委員会ではなく、極力、委員全員が委員会に参加し何らかの係りを担当して頂ければと考えています。

今期は設立65年の節目の年ですが、他クラブの方々に来ていただくような賑やかな周年記念例会は行わず、65周年記念ファンドをファンド委員会が計画されているので、それを成功させたいと願っています。DBCでは前期より東日本区の三島クラブと交流を行っています、今季、締結出来れば嬉しいですし、同時にほかのクラブともDBCを模索中ですので活発なDBC交流を期待しています。

私自身9年前にさくらクラブで会長をさせていただいた時とは明らかに違う責任の重さを認識しています。自分の出来る事(する事)をしっかり行い、次期の会長に(早く)バトンタッチしたいと節に願っています。1年間お世話になりますが、宜しくお願致します。

福知山ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

ワイズライフと
人生の糧に



小林 稔

福知山クラブは京都部内においては唯一京都府北部の地域にてYMCA活動を支え、地域社会では青少年育成事業など地域に密着した活動を半世紀にわたる長い歴史を重ねて来ましたが、諸先輩の教えを受けながらワイズメン、メネットが「ワイズを愛し」、「地域を愛し」た表れの賜と思っています。

現在メンバーは少数のクラブですが、その特性を活かした活動には団結力と行動力を持って取り組んでいます、さらに向上心を高めるためには経済的な支援、動力的な支援が必要であり、クラブの今後の課題は会員増強を目標に務めなければならないと考えております。

メンバー増強には例会の充実を図り、ワイズメンズクラブの原点でもある時間厳守、出席率100パーセントを目指し、例会に健康で楽しく親睦を保ち著名な講師を招いて視野を広めYMCA事業、ワイズ活動を通して地域社会に広報し会員増強に繋げたいと思います。

ワイズライフを人生の糧にの主題で今期スタートいたします。人は1人では生きていく事の出来ない弱い存在です、周りの人に助けられたり支えたりしていくことが不可欠です。それには共に楽しく過ごし「人と人」「心と心」ふれあいを大切に交流しワイズで学び、育てられたことに感謝して、地域社会にもワイズ精神を伝えていきたいと思っております。

京都パレスワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

『良いご縁を』



川勝 政男

私が入会したきっかけは、仕事関係で色々な人達と知り合う事が出来ましたが、何か物足りない様に感じて新しい人間関係を作りたいと思った事と、年齢も40歳最後になるろうとしていまして、そろそろ友達づくりも最後かと思いました。これがご縁での入会になりました。そして11年が過ぎて、私が京都パレスクラブ第42期の会長になる。これって全て私にとってクラブ入っての最高の良いご縁をいただいたと思っています。

それで、私は、本年度の会長主題を「良いご縁を」とさせていただきます。

この言葉は、先日 大野先輩が会長・主査研修会で言っていた。奉仕クラブとは、メンバーとの定期的に親睦の心を持って集うことである。その繰り返しにより「自己研鑽が起り自己改善へとつながる」そこからエネルギーを何らかの形で職場、家族、そして社会改善のために使う事であり、もっとも利益を受けるのは、自分自身である事を知ろう。

それぞれご縁があって入ったクラブです。入ってよかったと思える。そして自らを向上させるクラブでなければご縁があったといえないし、まずは、ワイズの皆様、良いご縁づくりを目指したいと思っておりますので宜しくお願致します。

京都ウエスト
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

We Can Do !



市橋 清太郎

これまでの京都ウエストの活動方針の流れを受け継ぎつつ、今期の会長主題は「We can do!～ウエストの親睦の輪を広げよう～」とさせていただきます。We can do!は「やればできる(やらなければ何も始まらない)」を意図します。何か新しいことを始めようとするとき、または困難に直面したときに、出来ない理由を並べて、結果、何もしないではなく、それをやる為に何をすべきかをみんなで考え、できることから少しずつでもやっていきたいという思いです。

そこには「みんなで知恵を出し合う」ことが大事であり、そうする為にはメンバー間の親密な人間関係が欠かせません。親睦を深めるなかで、いろいろな意見交換や新しいアイデアが生まれるはず。当然、仲間が一人でも多くなれば、それだけ意見もアイデアも多くなります。次期、桂京都部部長を当クラブから輩出する上でも、もっと仲間を増やすことが必要です。

親睦の基本はやはり例会です。討論会やメンバースピーチの時間を設けたり、ゲストが参加しやすい会を多く持つことが必要と考えます。メンバー候補をお誘いするとき、まずは例会です。その時に活気ある姿をお見せできるようにしたいです。

東日本大震災の支援活動は、今期も続けます。それにはある程度の資金が必要になります。それについてもクラブ経費の見直しやファンド事業の強化など、有用な事はどんどん取り組んで行きます。

「強く・熱く・楽しく」魅力あるクラブ作りを目指します。

京都めいぶる
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

「友輪」



馬場 正孝

18年ぶりに2回目の会長をさせていただきます。めいぶるから地域環境主査として坂下ワイズが

活躍されます。坂下ワイズの強い希望でもありました京都部ボウリング大会の開催、めいぶるクラブ一丸となってがんばります。また、昨年ニューメンバー3名が青木ワイズの紹介で入会されました。山川ワイズ・松原ワイズ・高田ワイズです。クラブのいろいろな行事に積極的に参加していただきまして、本当にたのしいメンバーに感謝しております。柴田EMC委員長のもと、3名の入会者を目指しがんばります。また、地域環境委員長を心よく引き受けいただきありがとうございました山川ワイズに感謝です。いままでと少し変化をもたせたクラブ活動になりますよう、三役さん・委員長さん・そしてめいぶるクラブの仲間たちと楽しいクラブワークをこれからもつづけていきたいと思ひます。

京都キャピタル
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

熱く交わそう！
ワイズの友情



山口 雅也

キャピタルクラブがチャーターして30年目を迎え、過去29人の会長をされた方の末席に加わらせていただくことになったわけですが、これを書いている5月、次期の計画を役員会や委員会などで、打ち合わせていく中で、その責任の重さをやっと実感しています。三役や委員長も何度かさせていただいていますが、今までと全く勝手が違うのがこの会長担当期であると思ひます。

キャピタルクラブは、最近5年程の間で約10名の新入会員を迎え、区大会のホストクラブも経て、とても活性化している状態です。会長を担当するにあたり、その原因を考えました。それは、以下のようなものだと思います。

- ①世代を越えたメンバーがお互いを尊重しながら信頼し合って結びついている点
- ②数多くの先輩が築きあげてきた歴史やスピリッツをととても大切にしている点
- ③基本に忠実、そして豊かな包容力や余裕がある点
- ④新しいメンバーを毎年迎え入れている点

このポイントを維持継続しながら、新たな取り組みを重ねて、メンバーシップをより強化したいというのが今期の抱負です。

主題を『熱く交わそう！ワイズの友情』—キャピタル30周年に向かって— とさせていただいたのは、上記のようなキャピタルクラブの良い点をより強化して、熱く、一生懸命に取り組めるクラブの雰囲気と、メンバー同士の信頼関係を大切にしたいと思ったからです。そして次期の30周年記念の期に向けて、ますます楽しめるクラブにしていけるように努めていきたいです。

京都プリンス
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

【クラブライフを
おもしろく】



小野 敏明

現代社会は大転換期を迎え、手本がない中での手探状態が続いています。未来への希望もなかなか見いだせず、5年、10年先が不明瞭な有様です。

しかし、批判的な見方をすれば、そのような状態を【おもしろい】と捉えることができます。ワイズメンに属していることによって生じるイベント。それらの事柄に問題意識を持って能動的に参加してみれば、より【おもしろい】クラブライフが送れると信じています。約150年前、日本における大転換期であった明治維新。その時代を生き抜いた長州藩士高杉晋作の辞世の句、

～おもしろきこともなきよにおもしろく、すみなすものは心なりけり～

困難な時ではありますが、こころひとつでおもしろくなると信じます。今期はメンバーと共にこの時を【おもしろく】重ねてゆき、その先にある問題の【入口】へと辿りつきたいと考えます。

京都センチュリー
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

握髪吐哺
(あくはつとほ)



大槻 信二

クラブ創立25周年を迎える年に、24年振りの会長職をさせて頂く事となりました。28名からスタートしたセンチュリークラブも、人数の減少と高齢化が、緊急の問題となっています。

今期は、センチュリークラブのメンバー一人一人が、その事に対して危機感を持って頂き、全員で会員増強に取り組む年としたいと思います。

又、クラブ内及びYMCAにのみ活動を求めるのではなく、メンバー全員が広く他団体、他クラブの活動にも参加し、影響を享受させて頂きたいと思っております。それらの活動の中から、クラブゲストとして迎える事の出来る人々の発掘にも力を注いで行きたいと考えています。

握髪吐哺(あくはつとほ)

意味：人材を得ようとして努めること。また、すぐ人に会うこと。どんな時にも客人を待たせない努力。

解説：【故事】中国の周公旦は、来客があったとき、入浴中であれば洗いかけの髪を握り、食事中であれば口の中の食べ物を吐き出し、すぐに客を出迎えた。「髪を握り吐哺を吐く」と訓読みする。「吐哺握髪(とほあくはつ)」ともいう。略して「吐握」ともいう。

用例：握髪吐哺して将来を担う人材を確保することが会社を発展させる。

類義語：人材登用(じんざいとうよう) / 草廬三顧(そうろうさんこ) / 一饋十起(いっきじつき) / 吐哺捉髪(とほそくはつ)

京都ウイング
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

もっともっと好き
になろう私の
ウイングクラブ



中村 誠司

26期スタートにあたりイベントとしては25周年を祝う周年例会の開催がありますが、この25年の歴史を積み重ねる為に尽力頂いたクラブ内外の方々へ感謝の気持ちを持って一年間を務めたいと思っております。節目の年でもありますので今のウイングクラブの現状をメンバー全員でしっかりと理解し更なる歴史を積み重ねる為のしっかりとした基礎となるようにします。

YMCAと歩みをともしするクラブとしてメンバーにワークへの積極的参加をうながし、その中で共に汗を流しながらメンバーシップを深めて行きたいと考えます。ワイズメンズクラブや理想となる地域社会を語り合い、互いにより刺激を与えられるような交流を深めて行けるようにメンバー同士が寄り合えるような環境を整えて行きたいと思っております。

そしてクラブを活性化させるためにもやはりメンバーの増強は必須であり、特に若い方の増員を図りクラブ全体の平均年齢を下げるように努めたい。

クラブの勢いを得られるようメンバー同士で議論を重ね、ベクトルを合わせて次のステップへの発展へつながる一年としたいと思います。

京都洛中ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

『見果てぬ夢を
求めて』



坂井 昇

此度、伝統ある京都洛中ワイズメンズクラブの24期目の会長を仰せつかり、緊張の日々をすごしている現状です。

1988年のチャーター以来、世界大会のサポート・日本区最後の大会の主催・京滋部会的主催等数々のイベントを無事乗り越えてきたクラブですが25周年を迎えるにあたり危機的な状況に陥ってきました。最大55名を誇ったメンバーも今や十数名までに激減してしまいました。

私の今年の主題である『見果てぬ夢を求めて』の示す通り、Y'sダムにのっとり理想主義者として、基本に戻り、仲間を増やし、現会員の絆を深めてゆきたいと考えます。過去を振り返るつもりはありませんが、パワフルなクラブにしていきたいと思っております。

現状を分析すると高齢化が進み活力に欠けてきたようです。(もちろん現会員は懸命に活動していただいております)新たに若き血を導入するのが手っ取り早いのですが、さてその方法論となると各クラブ同様でしょうがなかなか見つかりません。EMC委員長とも協議して、とりあえずアクションを起こさないと何事も起こりません、待っているだけではこのまま滅び去るのみであることは決定的です。

25周年記念例会も控えゆっくりはしてはられません。行動・行動・行動 アクション・アクション・アクションの気持ちでこの一年間を務めます。皆様方のご協力・ご鞭撻をよろしく願いいたします。

京都エイブル
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

さあ！！
つぎの、つぎの
ページに向けて、
以心伝心



大山 裕巳

京都南部にワイズメンズクラブを新しく作ろうと1990年5月2日にチャーターされた京都エイブルクラブも22期から次期23期になります。

23期の会長の大役を一昨年暮に内定して受けてから3月の次期会長主査研修会までしばらくの間がありましたがいよいよ次期が現実になって来ました。

ワイズにも多くの出会いがありました。入会した時のワイズメン、そしてその後多くのワイズメンと知り合いになりました。又多くのワイズメンとも別れもありました。私は9期の時に初めて会長職を経験しました。六甲での研修会は今でもはっきりと覚えています。二段ベットの相部屋、寒かった事、各クラブ次期会長や研修会の役員との触れ合いで多くのワイズダムを知りました。

今回チサンホテル新大阪での研修も終え23期が近づいています。スタートに当たっての抱負ですが、京都エイブルクラブでの最高齢となった私。今私に出来る事と言えば長年に生きて得た経験、それを活用することかもしれません。

人間にとって大切なのは「感謝の心」「慈愛の心」「敬う心」「わびる心」「許す心」があります。わびたり、許したりすることは非常に難しいが先に自分の欠点をわび、そして相手に謝罪を受け入れることが出来る様な豊かな人間関係を持てるクラブを心がけてゆきたいと思っております。「以心伝心」です。

京都グローバル
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

奉仕の原点



松谷 隆史

今期20期の会長を務めさせていただきます。松谷隆史です。我が京都グローバルクラブは、20年目という大変重要な年にもあたります。1993年の3月に誕生し、歴代の会長やクラブメンバーの築きあげてこられてきた歴史を大切にしていき、20年目の節目に、再度、見つめ直し・主題「奉仕の原点」副題「メンバーと共に、奉仕活動の本質を考え・行動しよう」を胸に。一年間頑張っていきたいと思っております。2013年3月3日の20周年記念例会では、様々な記念アクも行われます。その中でも、2年前に起こった東日本大震災で多くの方が、復興に向けて頑張られておりますが、多くの被災者のかたの笑顔が少ないのも現実だと思っております。少しでも、被災された人達に笑顔が取り戻せるような記念アク事業も考えております。

そして、各事業にも頑張り、25年・30年と更に輝くグローバルクラブの礎を築きたいと思っております。

どうか、京都の各クラブ会長様初め、多くのワイズメンの皆様一年間、宜しくお願い致します。

京都みやびワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

プラスワン



森 泰弘

今期は、20周年を迎えます。会長標語「プラスワン」を掲げ、メンバーの意識、活動を更なる1歩を踏み出す年にしたい。クラブ三役含め各事業委員長が、通年の事業を一步踏み込んで、各事業を協働で取り組んで行きたい。数年前よりクラブの例会、YMC A関連事業、地域奉仕関連事業、クラブ内レクリエーション等のメネット、コメントを巻き込んだ、家族単位の交流を心がけ、新入会員の入会時に於いても強調してきた。今後も、継続してゆく。

個別の事業に於いては、特にドライバーの活動に注視し、例会の充実を図り、EMCの事業と協働で行なう。Yサ・ユース事業に於いては、発達障がい児理解セミナーのY MCAとの共催も第10回の節目を迎え、地域奉仕事業・広報事業と協働で取り組みたい。その他、各事業の新たな活動を期待したい。

最後に、次期の周年を迎える時期には、バランスの良いクラブを目指す節目の年にしたい。

京都トップス
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

トップスカの結集



牧野 篤文

私がトップスクラブに入会させて頂いた時に強く感じたのは、私の先輩メンバーの皆さんが築かれた秩序がしっかりと作られていて、そして一人一人の素晴らしい「人間力」が存在し、その「人間力の輪」を強く感じました。全てのメンバーの皆さんが新人の私に温かくその「人間力の輪」に入れて頂く事が出来ました。その感謝の気持ちを持って今期トップスクラブの会長を務めさせていただきます。ここ2年で成長期に入ったトップスクラブですが、その成長を更に加速させ次期に繋げて行く事が最大の使命であると考えています。現在のクラブはメンバーも40名になりメンバー間の人間関係も良好で、新しいメンバーがどんどん役を持つことで新たなリーダーとして活躍して頂いております。今期は船木京都部部長を輩出し、9月9日の京都部部会のホストクラブとして企画運営させていただきます。参加頂いた全ての方に勇気と元気の貯金をして頂けるような部会をメンバー一丸となって開催したいと思います。

私自身も、もっと自己研鑽し人間力を高めクラブの全メンバーの皆さんを明るく照らす事の出来る太陽のような存在になりたいと思っております。そして新しいメンバーがどんどん新しいゲストを呼びそしてまたメンバーの輪に入ると言う、「成功スパイラル」を起こし人数そしてメンバー間の絆ともに西日本ナンバー1のクラブに成長できるようにベクトルを集中させて本気で取り組んで行きたいと思っております。

京都トゥービー
ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

昨日より今日、
今日より明日！



荒谷 和可子

この期は、ファンドと交流をひとつにします。内のクラブでのファンドだけでなく、兄弟クラブ

をはじめ、他クラブへの外に向けたファンドを考えることで、従来交流していた以上の交流が、常日頃から出来るのでは？と思っているからです。

また、必要に応じて、「ビジョン委員会」という会を開きます。将来、クラブが、どの様にありたいかを、考える有志の会です。

大切な時間を、このクラブに皆さんが費やすのですから、有意義で楽しい日々を送りたく思っています。

今まで、15年に渡って活動されてきた、トゥービークラブの歴史を重んじ大切に、そして新しい風も取り入れたクラブづくりが、出来たらと思っております。

『15周年記念例会』では、そういった趣旨で、みんなで楽しみ、そして将来のトゥービークラブに向けて、ワクワクしたビジョンを持てるような楽しく、また意義のある会にしたいと思っております。

メンバーの皆様、会長として選んで頂いたことを有り難く思い、メンバーみんなの成長以上に、自分も、学び成長出来る1年にしたいと思っております。

京都東稜ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

「笑顔での集い」



高安 秀樹

入会当初はクラブの事がよく分かっておらず、例会への出席もとびとびの超不良会員でした。

ところがクラブの活動に参加するうちに楽しさがどんどん分かるようになり、特に東稜クラブが設立当初より続けている毎月のクリーン活動は大変有意義なものと感じるようになりました。

この度会長をさせていただくにあたり、懇親の楽しさ、地域奉仕から学べる大切な事、YMCAの活動協力から知る子供達への教え等を広くまわりの方々へ知らせたいと思っております。

また、3年ほど前から美しい祇園祭をつくる会に参加させていただき、祇園祭のクリーン活動を行っています。当クラブのメネットさん、コメットさん等も参加されており、1つのポイ捨てでも数が集まればとんでもない事になるということが分かり、ゴミはゴミ箱へとこの事が実感してもらえているようです。今年も参加する予定をしていますが当クラブ以外からもできるだけたくさんの方に参加していただけるように考えております。

会員間の親睦を深めて今期の主題にしている「笑顔での集い」を実践して楽しく参加できる会にし、できるだけ多くの会員を増強し、来期の10周年を迎えられるようにしたいと思います。

まだまだ勉強する事がたくさんありますが一つ一つ覚えて皆様の役に立てるよう頑張りたいと思います。

京都ウェルワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

良き仲間と共に



中村 隆司

今期2度目の会長をさせて頂くに当たり、何と言ってもメンバー増強、並びにドロップアウトの防止が1番の課題として挙げられます。今始まった事ではなく、もう何年も前から危機的状況にありながら改善されていない部分なので、今更言うのも恥ずかしいですが、なぜメンバーが増えないのか、何がいけないのか、なぜ改善されないのか、全員がベストをつくしているのか、をメンバー全員で話し合い考え、もう一度対策を立て直して取り組んで行かなければいけないと考えております。勿論それだけではなく、クラブの運営、各事業活動への取り組み方、例会のあり方、そしてYMCAとの関わり方等、数え上げればきりがなく沢山ありますが、基本的にはチャーター以来スタイルを変えず頑張ってきたYMCAサービス・ユース事業への活動を中心として、積極的に取り組んで行こうと思っておりますし、地域奉仕・環境事業やEMC事業に関しましても、少ないメンバーながら全力を尽くし少しでも貢献出来ますよう、そして人が集まる楽しいクラブ作りを目指して前進して行きたいと思っております。そしてまた、1回目の会長の時にやり残した事や上手く行かなかった事、やりたくても出来なかった事なども改善させながら取り入れて行きたいと思っております。

京都ZERO

ワイズメンズクラブ会長

— 会長主題 —

明日も笑顔で



藤井 隆

ワイズメンズクラブとは何ぞやという疑問もありましたが、気さくな良い仲間にも囲まれて、例会や各行事に参加していると、本当にあつという間の出来事でした。

クラブは「学びの場」。沢山のゲストに出席頂き、身の回りの話題から日本の将来における話まで、多くの事を教えて頂き、また活用させていただき、本当に有りがたい事です。

月二回の例会・各委員会・EMC主催の「ハッピーアワー」・三役会・次期三役会・役員会・次期役員会・そしてその後のお食事会(飲み会でしょ!)。以前から夕食の確認をされていますが、最近露骨にいやな顔をしながら、「またお父さんだけ外でご飯たべて来はんのよ。全然一緒にいられへんね。」と、のたまう奥さん。それでも二年生の長男は「ワイズやろ。!・晴雄ちゃんも来はんにやろ。そらしゃーないわ」と、父の立場を考えて弁護してくれます。ありがとう!誕生日には欲しかったゲームソフト買ってあげるね。

クラブは「憩いの場」でもあるのです。だから僕も今までやってこれたのです。

ZEROクラブのみんなが楽しいクラブライフが過ごせるように、できる限りの心配りをしていきます。家族を大事に、家庭にも理解をもらい、そしてクラブのみんなにも支えられ、様々な方と交流できるよう、人見知りな私ですが、ファイト一発!





九州北部豪雨による災害(熊本県)への緊急支援募金のお願い

2012年7月11日から断続的に続く大雨により、熊本、福岡、大分の3県で、死者・行方不明者が32人に上る甚大な被害が出ました。現在でも、多くの方が避難生活を余儀なくされており、被災地に暮らす方々にも大きな困難が強いられています。

被害の大きかった熊本県・阿蘇市では、熊本YMCAが2つのキャンプ場、4つの保育園を運営しており、保育園児の家庭などにも被害が及んでいます。

熊本YMCAでは、宿泊施設もある阿蘇YMCAでボランティアや被災者を受け入れる態勢を整え、7月14日より被災者への宿泊・食事・お風呂などの提供と、被災地域でのボランティアによる家屋の片付けや周辺の整備などを開始いたしました。熊本市内でも被災地区へボランティアの派遣を実施します。

京都YMCAでは全国のYMCAと協力して、このたびの「九州北部豪雨」による災害被災者をおぼえ、熊本YMCAによる支援活動を支えるための募金活動を開始いたします。

●募金期間 2012年7月18日(水)～8月31日(金)

皆様からお預かりします募金は、下記のように用いさせていただきます。

① YMCA阿蘇災害支援ボランティアハウスにて行う、熊本県阿蘇市での救援・復興支援活動とボランティア受け入れへの支援

② 熊本YMCAが協働する熊本市・阿蘇市ボランティアセンターや、社会福祉協議会への支援

京都YMCA受付 または
郵便局・ゆうちょ銀行 01050-7-19132
京都YMCA奉仕活動基金
(*九州北部と明記ください)

なお、いただいた募金は熊本YMCAに送りますので、京都YMCAの領収書は発行できません。領収書が必要な方には熊本YMCAより領収書を発行してもらいますので、その旨お申し出ください。

公益財団法人 京都YMCA 担当:加藤
TEL075-231-4388 FAX075-251-0970
E-mail: kyoto@ymcajapan.org



北九州豪雨災害復興支援活動

九州部におきましては、評議会の議決により復興支援本部を立ち上げ、皆様の支援金や物品の寄付を取りまとめながら、支援活動を行う事になりました。

熊本YMCAと協力体制を取りながら進めていきたいと思っております。皆様のご支援お願い申し上げます。

支援金口座

肥後銀行 新町支店(103) 普通 1475252
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区九州部災害特別会計 岩本守弘

熊本ヤングクラブ所属 本年度九州部広報事業主査 岩本守弘ワイズに対策本部の役割を担って頂いております。頂いた支援金は、阿蘇YMCAが行っている阿蘇地域の復興支援活動と、被災されたワイズメンズクラブメンバーへの支援金として使わせて頂きます。

第1次支援金活動は8月31日までとしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

支援金の用途を限定されたい場合は、その旨をご一報ください。

- ・阿蘇YMCAが行う復興支援活動として使用して欲しい
- ・ワイズメンズクラブメンバーへの支援活動として使用して欲しいなど

よろしく申し上げます。

支援物資については、今後お願いする場合がありますが、現在のところYMCAより依頼が来ておりませんので、YMCAより協力依頼が出次第、ご連絡させていただきます。

皆さまの温かいご支援お願い申し上げます。

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区 九州部
2012-2013年度九州部部長 福島貴志

12～13年度 評議会メンバー

構 成 員	部 役 員	部長	船木 順司 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		次期部長	桂 厚子 (京都ウエストワイズメンズクラブ)
		直前部長	前 登 (京都みやびワイズメンズクラブ)
		監事	阪田 民明 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
	ク ラ ブ 会 長	京都ワイズメンズクラブ	杉本 仁郎
		福知山ワイズメンズクラブ	小林 稔
		京都パレスワイズメンズクラブ	川勝 政男
		京都ウエストワイズメンズクラブ	市橋 清太郎
		京都めいぶるワイズメンズクラブ	馬場 正孝
		京都キャピタルワイズメンズクラブ	山口 雅也
		京都プリンスワイズメンズクラブ	小野 敏明
		京都センチュリーワイズメンズクラブ	大槻 信二
		京都ウイングワイズメンズクラブ	中村 誠司
		京都洛中ワイズメンズクラブ	坂井 昇
		京都エイブルワイズメンズクラブ	大山 裕巳
		京都グローバルワイズメンズクラブ	松谷 隆史
		京都みやびワイズメンズクラブ	森 泰弘
		京都トップスワイズメンズクラブ	牧野 篤文
		京都トゥービーワイズメンズクラブ	荒谷 和可子
		京都東稜ワイズメンズクラブ	高安 秀樹
京都ウェルワイズメンズクラブ	中村 隆司		
京都ZEROワイズメンズクラブ	藤井 隆		
答 弁 義 務 者	部 役 員	YMCAサービス・ユース事業主査	山田 英樹 (京都キャピタルワイズメンズクラブ)
		地域奉仕・環境事業主査	坂下 昌史 (京都めいぶるワイズメンズクラブ)
		EMC事業主査	爲國 光俊 (京都パレスワイズメンズクラブ)
		ファンド事業主査	白濱 廣史 (京都エイブルワイズメンズクラブ)
		交流事業主査	高田 敏尚 (京都ワイズメンズクラブ)
		広報事業主査	三科 仁昭 (京都東稜ワイズメンズクラブ)
		メネット事業主査	渡部 美代子 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		書記	河原 正浩 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		書記	新山 兼市 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		事務局長	加藤 信一 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		会計	河原 祥博 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		京都YMCA 統括連絡主事	加藤 俊明

12～13年度 部長公式訪問

クラブ名	年月日	曜日
京都ワイズメンズクラブ	2012年8月14日	火
福知山ワイズメンズクラブ	2012年10月9日	火
京都パレスワイズメンズクラブ	2012年9月26日	水
京都ウエストワイズメンズクラブ	2012年11月22日	木
京都めいぶるワイズメンズクラブ	2012年8月23日	木
京都キャピタルワイズメンズクラブ	2012年7月17日	火
京都プリンスワイズメンズクラブ	2012年10月3日	水
京都センチュリーワイズメンズクラブ	2013年1月17日	木
京都ウイングワイズメンズクラブ	2012年8月2日	木
京都洛中ワイズメンズクラブ	2012年8月23日	木
京都エイブルワイズメンズクラブ	2012年10月23日	火
京都グローバルワイズメンズクラブ	2012年8月22日	水
京都みやびワイズメンズクラブ	2012年8月23日	木
京都トップスワイズメンズクラブ	2013年5月8日	水
京都トゥービーワイズメンズクラブ	2012年7月25日	水
京都東稜ワイズメンズクラブ	2012年10月11日	木
京都ウェルワイズメンズクラブ	2012年10月3日	水
京都ZEROワイズメンズクラブ	2012年7月26日	木

12～13年度 評議会・役員会日程

年月日	曜日	評議会	役員会
2012年6月24日	日	第1回(京都YMCAリトリートセンター)	
2012年7月6日	金		第1回
2012年8月3日	金		第2回
2012年9月7日	金		第3回
2012年9月9日	日	第2回(ウエスティン都ホテル京都)	
2012年10月5日	金		第4回
2012年11月2日	金		第5回
2012年12月7日	金		第6回
2013年1月11日	金		第7回
2013年2月1日	金		第8回(合同)
2013年2月10日	日	第3回	
2013年3月1日	金		第9回
2013年4月5日	金		第10回
2013年5月10日	金		第11回
2013年6月7日	金		第12回(合同)
2013年6月16日	日	第4回	